

## LINE 執行役員を C I O 兼 C D O に指名

「ビルド・バック・ベター」——コロナ以前より良い社会を築いていく。そのために不可欠なのが、さまざまなソースから得た情報と最先端のデジタル技術を活用して革新的な社会モデルを生み出すデジタルトランスフォーメーション（DX）です。

DXの推進には、県の業務を部局の垣根を越えてシームレスに連携させるために、ICT 技術だけでなく県全体の課題に精通したリーダーが必要です。本県ではC I O（情報統括責任者）とC D O（データ統括責任者）を二人の副知事が担うという体制になっていますが、今後はより実戦的な人員配置を検討するよう要望しました。

その結果、県は8月1日、LINE 株式会社の執行役員である江口清貴氏を県のC I O 兼 C D O に指名しました。

## 性犯罪で被害者視点に立て、 刑法改正求める意見書を可決

神奈川県議会は、7月10日の本会議で「性犯罪に関する刑法の更なる改正を求める意見書」を全会一致で可決しました。

意見書では、2017年の刑法改正で性犯罪に関して、衆参両院で合計15項目の付帯決議が採択されるなど幅広く議論されたことに言及。施行後3年に見直す規定があることから「被害者の視点に立ったより良い制度を実現するため、性犯罪に関する刑法改正の議論の充実が必要だ」として、①強制性交等罪の要件②監護者わいせつおよび監護者性交等罪の適用年齢の拡大③性行為の同意能力があるとみなされる「性交同意年齢」の引き上げ④公訴時効期間の撤廃——の4項目を検討するよう求めています。

公明党県議団は、関係団体との意見交換を積極的に展開。その中で出た要望を踏まえ、意見書の提出をリードしました。

## 「新しい生活様式」を 認知症施策にも

新型コロナで外出の機会が減ることにより認知症が進行する、また認知症の方のご家族の負担が増えるなどの事案が発生



しているため、「新しい生活様式」に対応した認知症対策の推進が必要ではないかと要望。

これに対し知事は、国が示した認知症サポーター養成講座のオンライン化の仕組みを活用し、認知症サポーターの養成に取り組むとともに、認知症の方やご家族が、タブレット端末等を活用して、認知症カフェに自宅から参加できる仕組みを検討すると答弁しました。

## 部局横断で貧困の 拡大を食い止めよ！

新型コロナの影響による貧困の拡大をくい止め、県民のいのちと暮らしを守るために、部局を横断する組織づくりを提案しました。知事からは、「(仮称)県民生活支援庁内連絡会議」を設置し、福祉、医療、雇用、住まいなどの関係部局の連携を図るとの答弁がありましたが、当事者がどの窓口から入っても適切なセーフティネットが働くようにワンストップ、オンラインによる支援を求めました。



## Profile

### 谷口 和史 プロフィール

- 1962年 和歌山県海南市生まれ
- 1981年 和歌山県立海南高校卒業
- 1983年 大阪外語専門学校卒業
- 1988年 創価大学文学部社会学科卒業（在学中にアリゾナ大学に留学）
- 1989年 ロイター通信社入社（経済記者・ロイターテレビ日本語副編集長を歴任）
- 2005年 衆院選初当選（比例区・南関東ブロック）
- 2006年 総務大臣政務官
- 2008年 国土交通大臣政務官
- 2011年 神奈川県議選初当選（大和市選挙区）
- 2015年 神奈川県議選2期目当選
- 2019年 神奈川県議選3期目当選

### 県 議 会

産業労働常任委員会

子ども・子育て・高齢社会対策特別委員会

### 党 役 職

公明党 神奈川県本部 幹事長

### 県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
神奈川県議会公明党控室

TEL: 045-210-7630  
FAX: 045-210-8912



- ブログ  
<https://blog.goo.ne.jp/kazufumi-taniguchi>
- facebook  
<https://www.facebook.com/kazufumi.taniguchi>
- ツイッター  
[https://twitter.com/kazu\\_taniguchi](https://twitter.com/kazu_taniguchi)
- 谷口かずふみ 県政報告サイト  
<https://www.kazufumi-taniguchi.com>